

日 時：平成 30 年 10 月 29 日（月）10：00～11：20

出席者：加藤久典、熊谷日登美、清水 誠、武見ゆかり、那須民江（スカイプ参加）

宮地元彦、藤原葉子

欠席者：児玉浩子、宮澤陽夫

場 所：日本学術会議事務局 6 階 6・C(1)

議題

1. 前回議事要旨の確認

前回の議事要旨の内容について確認し、承認した。

2. IUNS 理事会報告

来年 1～2 月にロンドンで理事会を開催予定である。

3. ICN2021 に向けての準備状況

日本栄養改善学会開催中の 9 月 3 日（月）に朱鷺メッセ（新潟コンベンションセンター）において、第 5 回組織委員会を開催し、委員の大半が決まった。

2021 年度共同主催国際会議申請書の学術会議への申請締切が 2018 年 11 月 30 日のため、22nd IUNS-ICN 事事務局長の仲川清隆氏（東北大学）と PCO（コングレ）を中心に、申請書の準備をしている。

組織委員会を頻繁に開くのは難しいため、幹事会（7 名）を設置した。

9 月 30 日（日）にコングレ東京本社において、プログラムの打合せをするための幹事会を開催した。

10 月 31 日（水）に東京大学において、募金や展示関係の打合せのための幹事会を開催し、スポンサー集めの体制、展示の方針等についての基本方針を決める予定である。

本年 12 月に IUNS 会長の Dr. Alfredo Martinez 博士（Spain）が来日するので、12 月 2 日（日）に同博士も出席の幹事会を開催する予定である。

4. IUNS 若手ワークショップの開催

2021 年の ICN の開催に向けて、2019 年に IUNS 若手育成ワークショップは開催した方がよいが、開催場所およびロジ（応募者との手配、ホテル、交通手段等の手配等）の担当者が問題である。

2020 年 3 月上旬頃の実施を目標に、栄養改善学会、栄養・食糧学会、国立健康・栄養研究所から 2～3 名を出して運営することとし、来年 1 月中頃までに、メンバーを決める。

5. その他

食品企業における動物実験に関する問題について議論した。

次回は可能であれば3月までに開催する。

(記録 熊谷、文責 加藤)